

# やわたんまち

## おらが山車、おらがみこし

平成20年  
9月  
**13日・14日**  
安房国司祭  
鶴谷八幡宮大祭

古くこの安房国の国府・三芳村府中(現在南房総市府中)に総社が創建され、その流れを汲むのが鶴谷八幡宮です。平安時代の末期、諸国で六所宮として各地の神社の神々を、同じ社殿または境内に祠り、国司の重要神事として六所祭を行うようになりました。この頃、安房国では、安房・洲宮・下立松原・手力雄・山宮・山荻・莫越山・木幡の八神社の分霊を祠り六所宮と称し、総社に祠って六所祭を行うようになりました。これが、現在の「安房国司祭やわたのまち」につながっているとされています。

その後、江戸時代には北条地区の山車と新宿のお船、高井の高皇産靈神社が加わり、昭和の始めに、湊の子安神社が加わり、現在のような盛大なおまつりになりました。

### ◆神輿・出祭神社



### 山車



**蛭子神社・南町**  
館山市北条  
祭神/事代主命  
●「えびす」とも読める「ひるこ」大神は、商売繁盛・漁業豊漁、五穀豊稔、交通安全の護神。山車は、明治30年に建造され、総体は朱と黒の漆塗り、彫刻は「浦島」を主体にした、竜・松などが躍動的に踊っている。人形は「神武天皇」。



**神明神社・新宿(お船)**  
館山市新宿  
祭神/天照大神  
●新宿のお船は「神明丸」(しんめいまる)と呼ばれており、現在のお船は昭和54年建造の3代目。かつて、汐入川に海が大きく湾入していた頃、八幡神社に出祭する「安房神社」他の南三社の御三神を新宿の「お船」でお渡したということに由来している。



**諏訪神社・六軒町**  
館山市北条  
祭神/建御名方命・品陀和氣命  
市杵島姫命  
●山車は明治20年代後半に建造されたもので、彫刻は「国分の彫刻師」として有名だった「後藤喜三郎橋義信師」により明治30年に完成。竜虎の他、中国に伝わる孝子物語の3場面が彫られている。「黄金の鳳凰」も特色で、人形は「楠木正成」公。



**神明神社・神明町**  
館山市北条  
祭神/天照大神  
●旧北条仲町と旧北町が合併してできた町内。町内中央に鎮座している北条村社である神明神社を町内鎮守社として崇敬している。旧北条仲町の山車。「鯉の滝昇り」が躍動的に描かれた分厚い刺繍の山車幕をほこる。彫刻は名匠後藤一門四天王の一人後藤義信作。人形は八幡神社祭神・応神天皇の母である「神功皇后」。



**神明神社・三軒町**  
館山市北条  
祭神/天照大神  
●山車は明治32年、石井熊次郎の建造。平成8年に大改修したもの。人形は「武内宿弥命」。その昔北条町だった頃、南町(現南町)、仲町(現神明町)、北町(現三軒町)とあって現神明町が2台の山車を出祭していて、三軒町の有志によって北町の山車を借りお祭りをしていました。昭和32年に三軒町の有志の方々によって北町の山車を譲りうけて、現在に至る。

**①安房神社**  
館山市大神宮  
祭神/天太玉命  
天比理刀咩命  
天富命・天忍日命  
例祭日/8月10日  
●神武天皇の御代、孫神天富命が沃壤を求めて阿波の忌部氏を率いてこの地へ住み麻穀を蓄殖された。よって忌部氏貴住の所を安房郡と名付け、その鎮護神として太玉命社を建て、のちに安房社と称した。延喜の制名神社大社に列し官幣に預かった。平安朝以降安房の国一の宮として、その位置甚だ重く、領主里見氏をはじめ江戸幕府も、それぞれ30石を安堵した。



**④下立松原神社**  
南房総市白浜町溝口  
祭神/天日鷲命  
天照大神  
高皇産靈神  
天太玉命  
大麻彦命  
他一四柱  
例祭日/8月1日  
●創建は神武天皇元年。源頼朝公、里見氏の崇敬厚く、徳川氏からも御朱印地を受けていた。



**⑦山荻神社**  
館山市山荻  
祭神/稚産靈命  
少彦名神  
猿田彦神  
大己貴神  
例祭日/10月17日  
●景行天皇53年秋8月に巡幸、五穀豊稔を祈ったと記録されている。穀物の守り神、また幼児の虫封じの神として知られている。明治になり社名を現在のものに。



**⑩高皇産靈神社**  
館山市高井  
祭神/高皇産靈神  
例祭日/9月14日  
●創立年代不詳。明治6年に村社に列格。明治の初め頃より、安房国司祭に参加し、今日に至る。



**②鶴谷八幡宮**  
館山市八幡  
祭神/品陀和氣命  
帶中比古命  
息長帯比賣命  
例祭日/9月15日  
●平安朝の中期に安房国の総社として国府村(今の南房総市府中)に創建された。鎌倉時代に、八幡宮として当地に遷座。武家時代となり、殊に領主里見氏に厚く崇敬するところとなる。明治6年に郷社に、昭和15年に県社に昇格。



**⑤手力雄神社**  
館山市大井  
祭神/手力雄神  
例祭日/10月9日  
●神武元年、忌部族が鎮祭した神社と伝承。里見時代の天正12年、里見義頼による社殿の改築が伝えられる。古くから大井の産土神として、土地の人々の崇敬を集めている。



**⑧莫越山神社**  
南房総市杵見  
祭神/手置帆負命  
彦狹知命  
彦火々出見尊  
他七柱  
例祭日/7月9日  
●当社は「延喜式神明帳」所載の安房国六座の一である。延喜の制には式内小社に、大化の制には国司の祭祀にあずかる。



**⑪子安神社**  
館山市湊  
祭神/豊玉姫命  
彦火火出見命  
うがや葺不合命  
例祭日/9月15日  
●創立養老3年と伝えられる。領主里見氏の崇敬社で、安産の神として知られる。もともと子安神社と称され、明治6年に湊神社、近年また子安神社と改められた。



**③洲宮神社**  
館山市洲宮  
祭神/天比理刀咩命  
天鈿女命  
天富命  
例祭日/8月10日  
●神武天皇元年に天富命が勅命を奉じ、魚尾山に奉祀された。当時魚尾山は海辺にあったので、洲神または、洲宮と称された。農業の神。明治6年県社に列す。



**⑥山宮神社**  
館山市東長田  
祭神/大山津見命  
例祭日/9月15日  
●白雉年間、摂津の人、中臣幸彦が猛獣や作物の害を除き、生国摂津三島に祠る大山祇命をこの地に勧請した。



**⑨木幡神社**  
館山市山本  
祭神/正哉吾勝速日天忍穗耳尊  
栲幡千々姫命  
天津彦火瓊杵尊  
例祭日/10月10日  
●景行天皇53年冬10月の創立という。後三条院の御時、はじめて鏡浦に放生会祭礼として神輿出御、現今、八幡宮出祭の神輿渡御祭が行われている。

